

第Ⅱ部 安来市における子ども・子育て支援の基本的考え方

1. 基本理念

本計画においては、第1期計画において定めた3つの視点と基本理念を継承し、子ども・子育て支援の推進を図っていきます。

視点1 未来を担い、創造する子どもを育む

説明：本市が目指す都市将来像との整合性と本市の未来を担う子どもの健全な成長に資する視点

- ◆ 家族形態が多様化する中、親の孤立化や家庭教育力の低下防止の視点
- ◆ 子育ての責任は、第一義的には保護者にあることを前提に地域力を活用した子育てが重要であるという視点
- ◆ 子育てに魅力や喜び、楽しみを感じ、安心して子どもを生み育てられる視点
- ◆ 男女ともに子育てと社会参画を両立できるまちづくりの視点

視点2 子どもの可能性と夢を引き出す

説明：親が本市で子どもを生み育てることに生きがいを感じ、楽しみながら子育てができるような環境づくりの視点

- ◆ 子どもたちが心身ともに健全に育つことが重要であり、そのためには大人の責務が大切であるという視点
- ◆ 子どもが「生きる力」を身につけ、成長し自立できる、まちづくりを進めるという視点

視点3 地域の見守りと気づきで創る子どもの未来

説明：家族・地域・行政・企業等が、子育て家庭の「支え」となり、社会全体が子育てをあたたく応援し、支えあっていくという視点

- ◆ 子ども、保護者が安心して安全に生活できる生活空間整備の視点
- ◆ 子どもを事故や犯罪等から守るための地域が一体となった連絡体制の整備等、地域社会が地域の子どもの成長に積極的に係わることのできる環境整備の視点

基本理念

子育てをみんなで応援 笑顔あふれるまちづくり

2. 家庭・地域・事業者・行政の役割

①家庭の役割

家庭は、子どもにとって、社会の最小単位であり、子どもの成長に最も影響を与える要因となります。

このことを踏まえ、保護者は、子どもとのスキンシップやコミュニケーションを通して、明るい家庭を築くとともに、子どもの成長に応じて適切に係わっていくことが重要です。

また、家庭では、男女が協力して子育てを進めることが大切であり、女性だけが子育てに大きな負担を負うことがないようにする必要があります。

②地域の役割

子どもにとっての地域は、生活を営んでいく上での重要な場です。子どもは、地域との係わりの中で社会性を身につけ、成長していきます。

そのため、すべての子どもが、地域住民との交流を通じて健全に成長できるよう、地域全体で支援していくことが大切です。

また、地域全体で子育て家庭を支え、子どもの可能性を広げるために、地域住民一人ひとりが、互いに協力しながら子どもの健全な成長を支援することが重要です。

③事業者の役割

働いているすべての人が、仕事時間と生活時間のバランスがとれる働き方、多様な働き方を選択できるように、働きやすい職場環境をつくることが事業者には求められています。

そのため、事業者自身が、働きやすい職場環境をつくるよう努めるとともに、働く人々がワーク・ライフ・バランスの考え方を持つことが大切です。

④行政の役割

行政は、子育て支援充実のために保健・医療・福祉・教育・労働等、多岐にわたる取組が求められます。そのために、関係部局間の連携を深め、総合的な施策の推進を図っていく必要があります。あわせて、国・県等の関係機関や地域との連携強化に努め、子育て支援施策の計画的な推進を図ることが求められています。

3. 施策体系

基本理念に基づき、6つの基本目標と18の主要施策の方向により、子ども・子育て支援施策を推進していきます。



